みなみのぎかい

2021
（令和３年）
５月１日
No. 55

読書サークル

南伊勢町議会だより

主な内容

３月定例会……P２
一般質問……P４
委員会活動報告……P15
ぎかい応援レター……P17
みんなでやっとるで～ ほか……P18

３月定例会議案

重点事業と注目ポイント

３月２日から17日までの日程で、令和３年第１回南伊勢町議会定例会が開催され、令和３年度当初予算案８件、条例案９件、補正予算案７件、諮問案３件、工事請負契約の締結案２件、工事請負契約の変更案１件、その他議案12件が提案され、すべて可決・承認されました。また、各常任委員会に付託された令和３年度当初予算案は、委員長報告を受け、可決となりました。

一般質問では10人が質問を行いました。

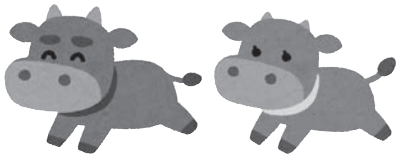
令和３年度当初予算（一般会計）は、対前年度 1.8％増
98 億 8,644 万６千円

ハード面では、南勢地区統合保育所建設事業に約３億 3,500 万円、若者用宅地分譲用地造成事業に約 7,200 万円、道路改良・維持工事に約３億円、地球温暖化対策事業として急速充電器の設置工事に約 650 万円、コミュニティ公園整備事業に約 2,800 万円、学校施設整備工事に約 2,100 万円。

ソフト面では、移住コーディネーター事業に約 530 万円、若者の定住促進対策事業として空き家バンク利用促進事業に約 530 万円、若者の住宅取得を支援する新築住宅等取得支援補助金に 2,500 万円、おためし地域おこし協力隊及びインターン地域おこし協力隊事業に約 200 万円、観光商工関連事業を支援するための地域おこし企業人事業に約 1,200 万円。また、新型コロナウイルス感染症対策として、新型コロナウイルス感染症予防接種事業（ワクチン接種）に約 9,000 万円、水道料金の減免にかかる水道事業会計への補助金を約 7,300 万円。

令和３年度【新規事業】

今年度より始まる新たな事業を紹介



（単位：千円）

担当課名	事業名	事業概要	事業費
まちづくり推進課	空き家バンク登録促進事業補助金	空き家バンクへの登録促進、利活用の推進のため、空き家内の不用な家財等を処分する所有者に対し補助金を交付する。	1,500
観光商工課	産業の再生と活性化（地域おこし企業人）	地域おこし企業人制度を活用し、食品商品の開発ができる人材を確保する。町内の事業者に対し、新たな商品開発を支援する。	6,600
環境生活課	温暖化防止対策事業（急速充電器の設置）	南島地区に電気自動車の急速充電器を整備する。	6,506
総務課	魅力ある公園づくり	旧南島保育所の跡地を活用し、吉津地区にコミュニティ公園を整備する。	28,431
水産農林課	繁殖牛貸付事業	繁殖牛を役場が購入し、就農希望者に貸し付ける。貸し付けた牛が子牛を産んだときには、その子牛を役場に返してもらうことを条件に繁殖牛を譲渡する。	4,399

議案第39号　令和３年度南伊勢町一般会計補正予算（第１号）

漁港機能保全工事（方座浦）
4000万円

緊急対応として方座浦漁港浮防波堤修繕工事（係留チェーン取替え）が行われます。

美しく、安全な漁港の維持保全

議案第40号　工事請負契約の締結について

統合保育所建設事業
用地造成工事
2億6千770万円

船越地区に令和5年度開園を予定している統合保育園の造成工事がはじまります。

通園の悩み解消へ

議案に対する議員の表決状況（賛否の分かれたもの）

政党	無所属											共産党	
議員名 / 議案名等	森源久	舌古傳夫	倉田育	河村健志	西則孝	掛橋靖	田中喜一郎	岡本眞	東伊久雄	松葉和久	上村久仁	岡田和夫	手塚征男
議案第10号 令和3年度南伊勢町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	●	●
議案第11号 令和3年度南伊勢町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	●	●

※表決　（○＝賛成、●＝反対、退＝退席、議＝議長）
※政党　（無＝無所属、自民党＝自由民主党、共産党＝日本共産党）
※議長は表決に加わらない。

あなたの声を町政に!!

一般質問

議員のQuestion　行政のAnswer

一般質問は、議員が自分自身の考えや町民の声をもとに、町長に行政の執行状況や将来に対する政策方針などを問うものです。

質問議員	質問事項	ページ
舌古傳夫	① 真鯛養殖業者の経営維持・安定化について	5
掛橋靖	① 年少人口減少歯止め対策の実効性は？	6
田中喜一郎	① 南伊勢町過疎地域自立促進計画関連について	7
手塚征男	① バイオマス施設と亜臨界水処理施設を使うゴミ処理施設について ② 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の準備について	8
岡田和夫	① 南海トラフ巨大地震への備えについて ②「新絆プラン」での若者のV字回復について ③ コロナウイルス感染症対策で、町内にPCR検査装置の導入を ④ 国民健康保険事業について	9
東伊久雄	① 農業政策について	10
松葉和久	① 河川管理と維持修繕について	11
倉田育	① 豚熱（CSF）の町内での対策と対応について ② これから求められる、まちづくりのあり方について	12
西則孝	① 新型コロナウイルス感染症の経済支援対策について ② 地域おこし企業人制度の活用について ③ 繁殖牛の貸付事業について	13
岡本眞	① コロナ禍における今後の行政運営について ② 防災対策について ③ ワクチン接種について	14

一般質問の質問事項・内容は、広報委員会で会議録に基づいて編集し、要約しています。
詳細は議会事務局にお問い合わせください。

議会を傍聴しませんか

次回定例議会（予定）

6月議会　**6月15日～6月18日**

傍聴の受付は議会事務局まで。

皆様の傍聴をおまちしています。

宝くじ公式サイトでも宝くじを購入できます!!

特典1　たまる!つかえる!宝くじポイント

特典2　購入～受取までネットで完結!

他にもお得な特典や便利なサービスいろいろ!　今すぐ会員登録!

本件に関するお問い合わせ先　宝くじコールセンター　TEL 0570-01-1192（ナビダイヤル 有料）　TEL 011-330-0777（有料）

受付時間 10:30～18:30（土・日・祝日、年末年始を除く）

※電話番号を十分ご確認の上、おかけ間違いのないようお願いいたします。

議会に関するご意見、ご要望がございましたら、議会事務局までご連絡ください。

TEL　0599-66-1781

FAX　0599-66-2164

舌古傳夫 議員

経営の維持・安定化は
町長 支援を行っていきたい

Q 真鯛養殖業者の経営維持・安定化を図る目的として行った、養殖真鯛販売促進委託業務について。令和2年度の真鯛の販売の成果は。また、鯛の販売、稚魚の仕入れは、各地区で予定通り進んだのか。

A 町長　養殖真鯛販売促進委託業務について、みなみいせ商会へ委託しており、当該業務の令和2年度の成果として、スーパーへの販売を中心に、官公庁職員や一般企業への販売、インターネットを利用した通信販売などにより、令和3年2月時点の販売実績は9981匹となっている。町内の真鯛養殖業者の販売形態や、仲買業者の情報などを確認した上で仕入れ先などに偏りが出ないように努めながら、業務を実施している。昨年末、再びコロナウイルス感染拡大の影響が出始めていることから、令和3年度も、町内養殖業者が継続して事業活動を行えるよう、支援を行っていく。

がんばり鯛！

誇れる地元の海産物を

戦略目標達成には
町長　総力を結集して

掛橋　靖　議員

Q　施政方針では、2025年に年少人口の減少に底を打たせ、増加に転じさせるため、V字戦略の3つのプロジェクトで目標達成につなげると述べている。3つのプロジェクトについて、選択と集中それぞれの実行及び、実効性は。

A　町長　実行性について、令和3年度は、施策レビューの提案を活かし選択と集中により改善・革新的な事業に重点的に取り組み、多くの方々に関わっていただくことが大切になる。総力を結集して、まちづくりに取り組んでいく。

「子育て・常若教育戦略プロジェクト」の出会い交流事業の実施について。特に結婚においては、外部委員からは結婚支援に対する個別丁寧な対応の必要性に関する提案をいただいた。

　他の自治体で具体的な成果も表れていることから、来年度は、外部人材に協力いただきながら、自治体の事例を研究し事業効果を高めていく。

「業のイノベーション戦略プロジェクト」では、魅力ある海洋産業振興プロジェクト委員会を立ち上げ、これまでの漁業振興の取り組みに加え、当町の海洋資源を活かした観光や水産資源や環境に配慮した取組の検討など、新たな産業の創出に向けた検討を進めていく。

「暮らしやすさ戦略プロジェクト」では、地域の中での女性の活躍として、ダイバーシティ推進に関する委員会や役場内でダイバーシティ推進チームを立ち上げ、取組を進めるほか、役場職員が地域づくり支援員として、地区あるいは旧村等の地域で若い女性、若者、移住者にとって暮らしやすい環境づくり、話し合う場を設定し、新たな方向を見出す支援を進める。

田中喜一郎 議員

自立に向けた対策は

町長 日常の不便解消・生活の向上を

Q 南伊勢町過疎地域自立促進計画について。新絆プランに基づいて様々な施策が展開されるなか、新年度から「特別措置法」にそった計画をスタートさせると思うが、平成28年度からとられた自立に向けた対策と、取組評価は。

A 町長 平成28年度に「南伊勢町過疎地域自立促進計画」を策定し、「産業の振興」「交通通信体系の整備、情報化及び地域間交流の推進」「生活環境の整備」「高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進」「医療の確保」「教育の振興」「地域文化の振興等」「集落の整備」などの自立促進施策に取り組んできた。

取組の評価として、有利な財政措置がなされている過疎債を活用することにより、自立促進施策・事業など町民の生活に必要なハード事業、ソフト事業を実施することができている。これらにより日常の不便解消・生活の向上、安全・安心の実現、年少人口V字回復のための諸施策の実施などにつなげられた。

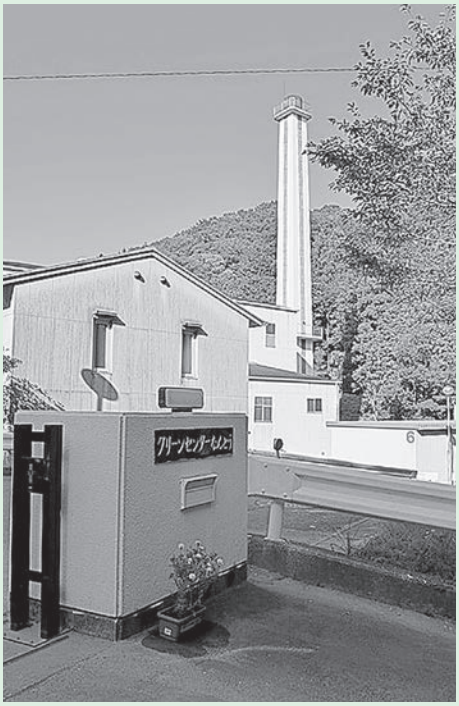
高台移転や医療機器の整備

建設費は
町長 補助金・交付金と過疎債を

手塚征男 議員

Q バイオマス施設と亜臨界水処理施設、両方の施設を使いこなすごみ処理施設は全国初。
施設建設費に伴う財政の問題・ブラックペレットの活用、生成される汚水処理などについて伺う。

A 町長 バイオマス活用事業について、当町は関係7府省より、バイオマス産業都市として認定を受け、同府省の補助金・交付金の活用が可能となる。また、過疎債等の起債活用し、建設費用の町の実質負担額は大幅に抑制できる。令和3年度に生産するブラックペレットサンプルについては、試験を実施し新たな活用を見出していく。メタン発酵処理における残渣である消化液は、液肥として十分活用できるものであることが確認できた。

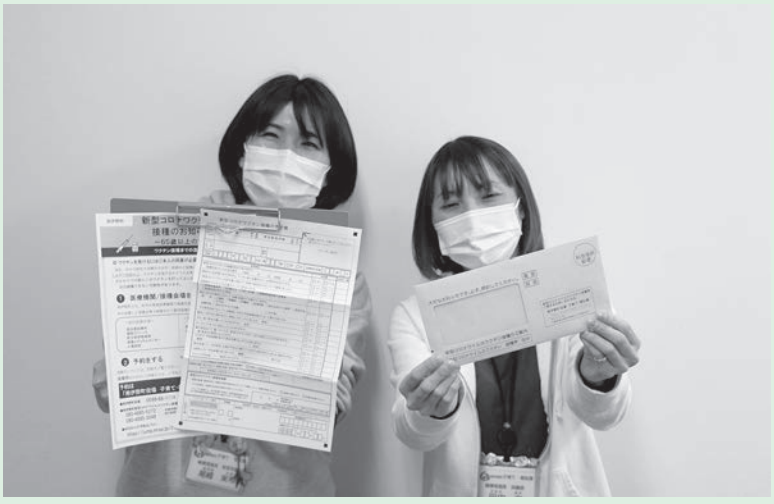


将来のごみ処理は

受け入れ態勢は
町長 準備を進めている

Q 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の準備について。受け入れ態勢、接種会場の確保は。

A 町長 接種会場や医師・看護師の確保、65歳以上の方への接種券の発送準備を進めている。集団接種は町立病院・南島メディカルセンターの2会場で設定し、土曜日・日曜日のどちらかの会場で接種を受けられるよう、また、個別接種は町内医療機関で調整している。



予約が必要です

岡田和夫 議員

避難所のコロナ対策は

町長 検温等のチェックを

Q 南海トラフ巨大地震への備えについて、避難所のコロナ対策が全国で言われているが、当町は、大規模災害時のコロナ対策を実施しているのか。

A 町長 台風や豪雨、南海トラフ大地震など自然災害が発生した時に備え、避難所が過密にならないように「分散型避難」、親戚や知人の家などへ避難する「縁故避難」等を検討いただくよう、広報等を通じてお願いをしている。

さらに、避難所でのコロナウイルス感染防止対策として、避難所受付で検温等のチェックをし、発熱者、濃厚接触者、要配慮者、妊産婦などに区分し、一般の避難者とは別のスペースで滞在していただくことを想定した避難所運営マニュアルを作成した。

パーティションで区分

回復できる見通しは

町長 力を結集して

Q 「新絆プラン」で、2045年に若者のV字回復を図るということだが、若者人口を計画通りに回復できる見通しは。

A 町長 「新絆プラン」では、著しく減少し続ける年少人口を一定限度で食い止めて増加に転じさせることで、年少人口のV字回復につなげ人口構成バランスのよいまちをつくっていくとしている。

そのためには、10年後のあるべき姿である「若者の希望をみんなで実現できるまち」をつくるという強い思いを持ちながら、役場が率先し、町民をはじめ当町に関わる全ての主体の力を結集して、改善や革新の取組を進めていくことが年少人口のV字回復につながると考える。

取組を進めていく

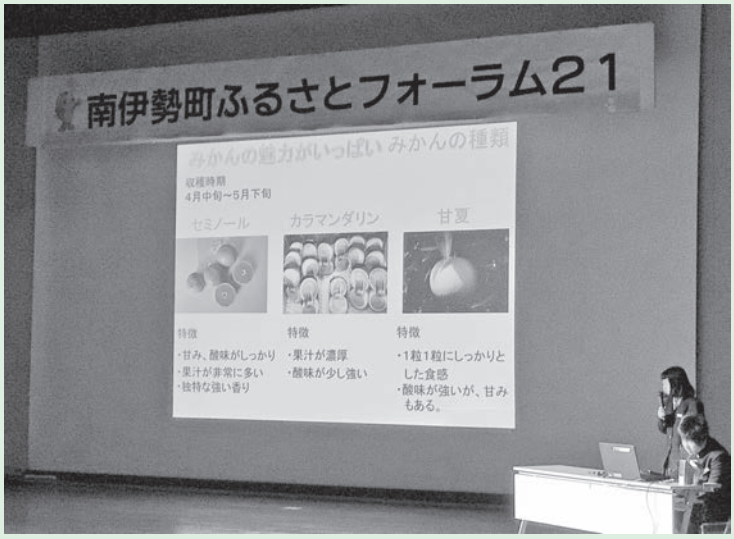
農業離職対策は 町長 強化が必要

東　伊久雄 議員

Q 農業について、高齢化による就業者の減少、担い手不足、更に獣害による営農意欲の低下などにより、離職が進んでいるが対策は。

A 町長 「農業経営体制の強化」では、集落営農の組織化を目指し、「生産基盤強化による生産性向上」では、適切な事業を活用し、施設の維持管理や小規模な基盤整備を進める。また、「集落ぐるみの鳥獣害対策」では、駆除と防御を両輪とし、地域と進める。これら施策の実現課題は、それぞれの対策強化が必要と考える。

汗をかいて、汗をかいて



V字回復に向けて

松葉和久 議員

河川の維持管理は 町長 協働し進める

Q 近年、地球温暖化による大雨被害が全国的に発生し、当町でも、河川上流部の河床洗掘※や構造部基礎の露出、護岸損傷、そして、下流部の河床堆積※などがみられる。県、町管理河川の維持管理、修繕の取組は。

A 町長 当町内には、県管理河川が17、町管理河川は159ある。近年の集中豪雨による状況は、指摘の通りであり、各地区からの要望、緊急度などにより対策工事を実施し、県へは堆積土砂撤去や修繕を要望している。今後についても、予定している工事を進め、また、県と協働して河川の維持管理を行う。

急げ現状回復

日々の暮らしを守るために

※**河床洗掘**…洗掘（せんくつ）とは、水の流れや波の影響により河岸・河床の土砂が洗い流されること。

※**河床堆積**…河川の底部に、流速に応じて岩石や砂礫、粘土などの堆積物がみられ、その表面には、水質に対応して微生物が付着し、水藻や水生植物が生い茂る。

豚熱への対策は
町長　養豚農家へ支援

倉田　育　議員

Q 県南部地域への豚熱（CSF）感染拡大の懸念が高まっている中、今後の豚熱ウイルスを媒介するとされる「野生いのしし」への対策と対応は。

A 町長　当町では、これまで捕獲報奨金上乗せの「いのしし捕獲強化事業」を、県では、「指定管理鳥獣害捕獲等事業」と「捕獲わな等貸出し事業」を行い、野生いのししの頭数低減に取り組んできた。また、町内における経口ワクチン散布の実施時期は未定であるが、独自の取組として、飼養豚へのワクチン接種への補助金を創設し、養豚農家への支援と感染予防を行う。

鉄壁のディフェンスで

新年度予算の取組は
町長　V字回復につなげる

Q 令和3年度予算を含め、「これまでの取組からの脱却」と「革新」な取組とは。

A 町長　出会い交流事業では、当町の食材と観光をテーマに、「友活イベント」を実施。水産業では、地域おこし企業人を活用し、商品開発や観光メニューを。更に、地域内での女性活躍推進に向けて、ダイバーシティ推進チームを立上げ、移住者や若い女性などが、暮らしやすい地域社会づくりを目指し、V字回復につなげる。

目指せ！漁業と観光のコラボ

西　則孝　議員

コロナ経済対策は
町長　町独自支援策を

Q 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた、町内生活者や事業者への経済支援は。

A 町長　新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、現在も継続して実施している水道料金の減免、養殖真鯛の販売促進、養殖共済加入奨励補助金支援、小中学校入学準備補助金など、町独自の経済支援を実施していく。

元気で美味しい鯛を！

繁殖牛事業とは
町長　100人の若者定住を

Q 令和3年度、新たに予定している繁殖牛貸付事業の詳細内容は。

A 町長　放牧及び林業の核となる人材を中心に、若者が暮らしていける複合経営を確立する仕組みと、耕作放棄地の解消を目標とする。具体的には、2頭の妊娠牛を導入し、放牧の実証実験を行う。目標とする事業規模は、20年後、繁殖牛100頭、100ヘクタールの耕作放棄地解消、20家族で関係人口100人の若者定住を目指す。

夢を託して

防災対策に変化は
町長　ソフト面での対応に

岡本　眞　議員

Q 地震には様々な対策が講じられてきたが、コロナウイルスの出現により、防災対策にも変化があったのでは。

A 町長　新型コロナウイルスの感染防止対策の徹底が必要となり、防災減災対策の中でも特に、避難所運営や備蓄品などソフト面の対応を変えていく必要がある。

また、発熱者、濃厚接触者、妊産婦の方には、一般避難者とは別のスペースに滞在していただく。

発熱者や要援護者が利用するテント。手指消毒用アルコール、非接触体温計などが入った避難所運営ボックスを各区に配備することも求められることになった。

人にやさしい

ワクチン接種は
町長　スムーズに進める

Q コロナワクチンの接種が開始されようとしているが、これまで、どのように進められてきたのか。また、今後の課題は。

A 町長　国から接種は3月末から4月当初に始められるように日程が示され、県、伊勢地区医師会、伊勢度会郡の市町などでの広域的協議や町立病院、町内の医療機関とも協議を重ね、準備してきた。

そして、町民にワクチン接種券が届いた後の予約や予診票の記入、接種をスムーズに進めることができるか、また、病院での感染症対策などが大きな課題。

まずは高齢者から

◆常任委員会・特別委員会◆

～より良いまちづくりのために、調査・研究、
そして、現地視察などの活動を積極的に実践しています～

総務建設常任委員会

町の財政・産業・建設・防災・上下水道・まちづくりなどについて調査や審査を担当しています。

活動報告

◆12月17日
調査事項
観光商工課所管
●ふるさと納税について
等、調査しました。

◆1月18日
◆1月20日
◆1月26日
◆2月3日
◆2月12日
調査事項
まちづくり推進課所管
●今後のごみ処理施設建設について
等、調査しました。

教育民生常任委員会

教育・子育て・福祉・医療・生活・環境衛生・町税・国民健康保険・介護保険などの調査や審査を担当しています。

活動報告

◆12月21日
調査事項
町立病院所管
●病院の現状について
等、調査しました。

◆2月15日
調査事項
税務住民課所管
●国民健康保険税について
●後期高齢者医療保険料について
等、調査しました。

◆1月18日
◆1月20日
◆1月26日
◆2月3日
◆2月12日
調査事項
環境生活課所管
●今後のごみ処理施設建設について
等、調査しました。

議会改革特別委員会

令和2年5月13日より、月一度の開催を目途に9回の委員会を開催してきました。委員は議員13名全員で構成し、これまでの委員会の流れを踏襲しつつ、議員個々の資質の向上と、議会の活動をより活性化するため議会のあり方を積極的に議論しあいました。また、議会議員としての使命を果たすため、議員間での討議をすることにより、個々の発言力を身につけ、活発な委員会を目指し活動しました。

主なテーマは、

- 町議会議員と町長の同一選挙について
- 質疑と質問について
- 一般質問について
- 有意義な視察をするために
- 通年議会について
- 議会活動と議員活動について

コロナ禍の中での開催にもかかわらず、議員の積極的な参加により、活発な討議が出来たと考えています。

今後もエンドレスな取組と考え、永続していきます。

委員構成

委員長　岡本　眞
副委員長　舌古傳夫
委員　全議員

人口減少若者定住対策特別委員会

本委員会は、少子高齢化が加速度的に進行する当町において、これからの若者定住対策の推進のために、若者世代、子育て世代が当町で安心して生活を営んでいける環境整備や新たな仕組みづくりなどについて、町政策へ反映することを目的に、昨年5月より本年3月まで9回の協議を重ねてきました。

これまでの経緯として、まず当町がこれまで人口減少や若者流出に至った要因や背景の調査・研究、関係各課がこれまで実施してきた若者定住対策事業の成果と課題についてヒヤリング調査を行い、いくつかの課題を抽出する中で、若者世代や子育て世代への支援強化、仕事や生活における不安解消、Uターン・Iターン者の受入政策などについて協議し、これを町内外に伝達するための「情報発信」を見直し、充実することを最重要課題として位置付けました。

このことを基本に関係人口・応援人口を創出し、ふるさと納税を増やすことで若者定住予算の充実を図り、課題解決につながる若者定住対策の更なる推進など、もう一段上のステージに進む必要性について確認しました。

今後、行政への提言を目標に調査・研究内容を取りまとめ、継続した委員会活動を実践していきます。

委員構成

委員長　掛橋　靖
副委員長　倉田　育
委員　手塚征男
東　伊久雄
岡本　眞
西　則孝
河村健志

ぎかい応援レター

ぎかい

50 代男性

このままで大丈夫？

久しぶりに法事で実家に帰ってきた。コロナ禍での田舎暮らしの大変さを親から聞く。今住んでいる愛知と比べて、感染防止への意識の高さに驚く。役場や議員さんの頑張りも親から聞く。ふるさと納税者としては嬉しい。でも、もっと議員さんの若返りに期待したい。30代、40代がもっといないと将来が不安。議員さんだけが昔のままで大丈夫？

たいへんです。

息子が、関西の大学に行くことになりました。
コロナ禍の中での、住まい探し、次は引っ越し、そして入学式…。
身体に気をつけて頑張れよ！と…
たまには、地元にも帰って来いよと言いました。

40 代女性

50 代女性

いろんな事を忘れていっても・・・

先日、母（姑）も85歳を過ぎて、認知症かも？ということもあって、宿田曽地域支え合い事業のスタッフ予備軍として、福祉講習を受けました。

コミュニケーションが大事、相互の信頼関係が大事、その人の事を知る引き出しを持っている事が大事。

あれ？母の引き出しの中身一番知っているのは私だ！

「認知症がすすみいろんな事を忘れていっても感情だけは残っている」という言葉が響きました。

minamiise

あなたもつぶやきませんか？

どんなことでも大丈夫です（^^）/　みんなでつぶやきましょう。思ったこと、感じてることを 200 字程度でつぶやいて、ハガキか FAX で送ってくださいね。

〒516-0194 南伊勢町五ヶ所浦3057　議会事務局　宛　FAX 0599-66-2164

南伊勢町議会だより
No.55
発行／三重県南伊勢町議会　〒516-0194 三重県度会郡南伊勢町五ヶ所浦3057
編集／議会広報特別委員会

みんなでやっとるで～

「読書サークル」

ふれあいセンターなんとうにおいて、「なんとう読書サークル」を第３水曜日に開催しています。毎月１冊の短編小説をテーマに感想を話し合ったり、作者の生い立ちや執筆背景を聞いてから名作の朗読を聴いています。

自分の感想を言うのが緊張する、という方でも、読書を通じて楽しく交流を深めています。みんなで感想を話し合うことで新たな発見があったり、毎月の開催日を楽しみに活動をおこなっています。

これまでに紹介された本

- 夏目漱石／夢十夜
- 藤沢周平／霜の朝
- 太宰治／御伽草子
- O・ヘンリー／最後のひと葉
- 文藝春秋編／もの食う話
- 森鴎外／高瀬舟

などなど

議場にアクリル板の設置

議場において、飛沫拡散を防止するため、パーティションとして、アクリル板を設置。また、委員会室にも同様に対策がされました。

定例会としては3月より活用されています。

編集後記

東日本大震災（3・11）より、10年を迎えました。もう、そんなに時間が経過しているとは・・・。ついこの間の事柄のように、記憶しています。

そして、また、東南海地震がやって来るとも言われていますが、現在においては、コロナ感染症への対策が第一ではあります。

しかしながら、住民の皆様には、地震災害への対策、及び、心の準備についても、よろしくお願いします。

お体を大切に、ご自愛ください。

議会広報特別委員会

議長	上村久仁
委員長	森源久
副委員長	舌古傳夫
委員	掛橋靖
	河村健志
	倉田育

議会だよりについてのお問い合わせや、議会に関するご意見、ご要望がございましたら議会事務局までご連絡ください。

☎0599（66）1781
FAX0599（66）2164